



World Vision

この子を救う。未来を救う。



エスワティニ王国 シエウラ地域開発プログラムのご紹介 (SWZ-186252)

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えられるよう、チャイルドが住む地域を支援するプログラムです。チャイルドが住む地域と、現地でワールド・ビジョンが実施しているプログラムについてご紹介します。

地域の課題



貧しい生活を支えていくには、子どもたちも一家の重要な働き手です



水衛生

- 手洗いなどの正しい衛生習慣を実施している人 **約45%***
- 5歳未満の子どもたちが、不衛生な水により下痢などの病気に苦しんでいます



子どもの保護

- 結婚や妊娠により、学校を中退する女子生徒が多い



支援地域の住居の様子。草ぶきの屋根からは雨漏りすることもあります

*2018年時点

国情報

エスワティニ王国

アフリカ大陸の南に位置し、北東にモザンビーク、ほかの国境線はすべて南アフリカ共和国に接する内陸国。国王を元首とする立憲君主制国家で、国王の権力は憲法でも保障されています。首都はムババーネ。教育制度は、初等教育（7年）、中等教育（5年：3-2年）、高等教育です。近年の干ばつによる食料危機と、HIV/エイズの蔓延、それによる生産者の減少が、大きな課題となっています。

首都：ムババーネ

シェウラ地域開発プログラム

地域情報

シェウラ 地域開発プログラム

支援期間：2007年～2024年

*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

首都ムババーネから東へ約100km、車で約3時間の場所に位置する、ルボンボ地方ロマハシャ区シェウラ地域にてプログラムを実施しています。降雨だけに頼った農業による収穫量は少なく、エスワティニの中でも最も貧しい地域の1つです。HIV/エイズによって親を亡くした子どもや、母子感染によりHIV/エイズに感染した子どもが多くいます。水資源が少なく、毎日遠くまで水を汲みに行かなければならない上、安全な飲料水の確保が困難です。トイレなどの衛生設備が普及していないため衛生状態が悪く、下痢などの感染症で命を落とす子どももいます。

地域の課題



水衛生

地下水が少なく、年間の降雨量が500ミリ前後と水資源が少ないため、安全な水の確保が大きな課題です。トイレの使用などの衛生習慣も普及しておらず、不衛生な水や環境が原因で下痢などの感染症が広まりやすい状況です。



子どもの保護

女の子への教育の重要性に対する保護者や住民の理解が低く、学校を中退する女の子が少なくありません。特に、若くして結婚した子どもや、家計を助けるために働く子どもたちが影響を受けています。また、学校に行っていないことで、周囲から保護されにくくなり、ぜい弱性が増している状況です。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- トイレの設置支援、安全な水場の整備
- 住民への保健や衛生習慣に関する研修
- トイレや井戸などの設備の管理に関する研修



安全な水が確保できるよう支援を行います

- 子どもの保護委員会のモニタリング能力強化のための研修
- 地域のリーダーへの働きかけなどを通じた早婚防止の啓発
- 警察や地域組織との協業



子どもたちが継続的に質の高い教育を受けられるよう支援します

支援はチャイルドの生活を変える力となります



テマカンコちゃん（左端）が住む地域には、水源がありませんでした。そのため、毎日早起き、30分以上も歩いて、20リットルの水を汲みに行っていました。その水は家畜にも使っていて、不衛生だったので、よく下痢などの病気にかかっていました。

ワールド・ビジョンの支援により、地域に水源ができ、今では46世帯、326人の地域住民が清潔できれいな水を手に入れられるようになりました。また、水が原因の病気も減り、地域住民の生活が改善されています。

ワールド・ビジョンは、テマカンコちゃんのような子どもたちの生活環境を改善していくために、支援活動を行っています。

マイ ワールド・ビジョンに登録しませんか？

登録（アカウント作成）後ログインしていただくと、チャイルドと支援地域の写真や情報がご覧いただけます。

ホームページトップの「**支援者の皆さまへ**」に進み、「**アカウント作成**」のボタンから、手続きをしていただけます。申請後、5営業日以降、情報をご確認いただけます。

また、右のQRコードからメールアドレスをご登録いただければ、チャイルドや支援地域からの最新動画、イベント情報などもお届けします。



公式SNSでは、世界の子どもたちをとりまく情報を発信しています。
ぜひ「いいね！」や「シェア」をして、お友だちにご紹介ください。

 **FACEBOOK**
@worldvisionjapan

 **Instagram**
@worldvisionjapan

 **Twitter**
@WorldVisionJPN